

## ガス料金改定に伴うご契約内容変更のお知らせ (コージェネレーションシステムパッケージ契約 東京地区等)

平素より、東京ガスをご利用いただき誠にありがとうございます。

当社の東京地区等においては、2015年12月のガス料金改定以降、料金体系を据え置き、ガス事業を運営してまいりました。前回の改定後、省エネ進展等によるガス使用量の減少、物価高騰に伴うコストの上昇、さらに2025年4月の一般ガス導管事業者による託送料金値上げ等があり、コスト構造やガス使用量見通し等は大きく変化している状況です。

今般、こうした環境変化を料金に反映し、持続的に事業を運営していくため、2026年10月より料金改定いたします。

変更点が多岐にわたるため、お客さまにはご不便をおかけすることとなり、誠に恐縮に存じます。今後も一層の経営効率化を推進し、ガスの安定供給とサービス品質の向上に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**なお、本変更に伴うお客さまご自身でのお手続きは不要です。**

### 【主な見直し内容】

#### ① ガス料金の見直し

##### <原料費調整制度における算定式の変更>

- 今後のLNG・LPG調達見通しを踏まえ、**原料費調整制度\***の**平均原料価格の算定式を見直いたします。あわせて調整上限を廃止いたします。**

	変更前	変更後
平均原料価格の算定式	平均原料価格 = トンあたり LNG 平均価格× <b>0.9479</b> + トンあたり LPG 平均価格× <b>0.0546</b>	平均原料価格 = トンあたり LNG 平均価格× <b>0.9088</b> + トンあたり LPG 平均価格× <b>0.0987</b>

\*原料価格は、為替レートや原料価格の動きによって変動します。原料費調整制度とは、こうした外生的要因による原料費の変動を、単位料金に反映する制度です。詳細は、当社ホームページ「原料費調整制度とは」をご確認ください。

##### <基準平均原料価格の変更とそれに伴う基準単位料金の変動>

- 2025年11月～2026年1月の貿易統計の原料価格に基づき、**基準平均原料価格および基準単位料金を変更いたします。**
- 基準平均原料価格の変更に伴う基準単位料金の変更については、2026年4月検針分の調整額<sup>\*1</sup>と同じ水準となるように、変更いたします。後述の料金表に当該変更額は含まれます。

		変更前	変更後
基準平均原料価格 (A)		57,250 円/トン (原料価格算定期間： 2015年6～8月)	<b>86,100 円/トン</b> (原料価格算定期間： 2025年11月～2026年1月)
基準単位料金 (B)		現行の基準単位料金	現行の基準単位料金 <b>+ 25.48 円/m<sup>3</sup> *<sup>2</sup></b>
例)	2025年11月～ 2026年4月	85,890 円/トン = 85,940 円×0.9479	86,100 円/トン = 85,940 円×0.9088

検針分の 調整単位料金 を変更前後で比 較した場合	平均原料価格 (C)	+81,040 円×0.0546	+81,040 円×0.0987
	原料価格変動額 (C-A)	28,600 円/トン = 85,890 円-57,250 円	0 円/トン = 86,100 円-86,100 円
	調整額 (D)	<b>+ 25.48 円/m<sup>3</sup></b>	<b>0 円/m<sup>3</sup></b>
	調整単位料金 (B+D)	<b>現行の基準単位料金 + 25.48 円/m<sup>3</sup></b>	<b>現行の基準単位料金 + 25.48 円/m<sup>3</sup></b>

\*1 原料費調整制度に基づき算定した、基準単位料金からの各月の変動額（円/m<sup>3</sup>）をいいます。

\*2 + 25.48 円は基準平均原料価格の変更のみに起因する変更額となります。改定後の料金詳細は後述の料金表をご確認ください。

### <料金表の変更>

- ・ 下記の通り、**料金表を見直しいたします。**
- ・ **第1種～第3種までの料金表を1つに統合いたします。**
- ・ **基本料金について、最大需要月基本料金を廃止し、定額基本料金と流量基本料金のみといたします。**
- ・ **基準単位料金をその他期（4～11月ご使用分）と冬期（12月～3月ご使用分）ごとに設定します。**
- ・ **また、一般ガス導管事業者の小売託送供給約款の料金引き上げ（0.02 円/ m<sup>3</sup>）に伴い基準単位料金を変更いたします。\***<sup>1</sup>

	(参考) 変更前 (税込)			変更後 (税込)	
	第1種	第2種	第3種	その他期	冬期
定額基本料金(円・月)	14,520.00			47,377.00	
流量基本料金単価 (1m <sup>3</sup> /hにつき円・月)	440.74			742.50	
最大需要月基本料金 単価(1m <sup>3</sup> につき円・月)	6.06			廃止	
第1単位料金(円/m <sup>3</sup> )* <sup>2</sup>	84.22	85.30	85.30	85.52	91.87
第2単位料金(円/m <sup>3</sup> )* <sup>2</sup>	-	-	89.41	-	-

\*1 小売託送供給約款の変更詳細は、東京ガスネットワーク社ホームページ「小売託送供給約款の変更認可申請について」(2025年2月7日)をご確認ください。

\*2 変更前については、2025年11月～2026年1月の原料価格に基づき算定した調整単位料金、変更後については基準単位料金を記載しています。政府による「電気・ガス料金負担軽減支援事業補助金」の対象となる場合であっても上記の料金表には含まれておりません。

## ② 契約手続き簡便化のための変更

契約更改におけるお客さまのお手続きを簡便化するため、適用条件等を以下の通り変更いたします。

変更項目	変更内容
契約更改時の契約量等の取扱いの変更	毎年度の契約の更改時に、次期契約期間におけるお客さまのガス使用計画を確認し、前年度と変更がない場合は現契約と同契約量での更改、変更がある場合は契約書を取り交わしなおしていましたが、 <b>契約年間使用量、契約月別使用量および契約最大時間流量は契約開始または更新に先立つ12か月のそれぞれの実績使用量および実績最大時間流量と同一といたします。</b> お客さまの使用実態を次期契約に反映しやすくし、契約書締結の負担を削減します。

契約年間引取量・契約年間負荷率の廃止（精算条項は継続）	上記の契約更改時の契約量の取扱いの変更に伴い、 <b>契約年間引取量および契約年間負荷率を適用条件から廃止いたします。</b> これにより契約満了時に一時的に当該適用条件を満たさない実績となった場合、従来は他契約種への変更が必要でしたが、現行のご契約を継続いただくことが可能です。なお繰り返し精算額が発生するお客さまは他契約種へ移行をいただく場合があります。
契約月平均使用量の廃止	<b>契約月平均使用量を適用条件から廃止いたします。</b>
最大時間流量倍率の廃止	<b>契約最大時間流量倍率を適用条件から廃止いたします。</b>

### ③ 精算額の取扱いについての見直し

託送供給約款との整合性を鑑み、最大時間流量超過時の精算額等の取扱いを変更いたします。

変更項目	変更内容
契約最大時間流量超過精算額の算定式および条件変更	<p>最大需要期の実績最大時間流量が契約最大時間流量の105パーセントをこえた場合、精算額を申し受けておりますが、算定式を以下の通り変更し、<b>最大需要期に関わらずお客さまの実績最大時間流量が契約最大時間流量をこえた場合には精算額を申し受けます。算定式の係数はこれまで1.1倍としておりましたが、1倍といたします。</b></p> <p>(変更前の算定式)</p> $\text{契約最大時間流量超過精算額} = \left( \left( \frac{\text{実績最大}}{\text{時間流量}} \right) - \left( \frac{\text{契約最大}}{\text{時間流量}} \times 1.05 \right) \right) \times \left( \frac{\text{流量基本料金}}{\text{単価相当額}} \times 1.1 \right) \times 12$ <p>(変更後の算定式)</p> $\text{契約最大時間流量超過精算額} = \left( \left( \frac{\text{実績最大}}{\text{時間流量}} \right) - \left( \frac{\text{契約最大}}{\text{時間流量}} \right) \right) \times \left( \frac{\text{流量基本料金}}{\text{単価相当額}} \right) \times 12$ <p>また、実績最大時間流量が契約最大時間流量の105パーセントをこえ130パーセント以下である場合、かつ当該実績最大時間流量を下限として次期契約最大時間流量を定める場合には精算額を申し受けておりませんでした。超過割合に関わらず<b>お客さまの実績最大時間流量が契約最大時間流量をこえた場合には精算額を申し受けます。</b></p>
契約最大時間流量超過精算額の申し受け時期変更	当該精算額は、原則として超過が発生した翌月に申し受けておりますが、 <b>当該需給契約の終了月の翌月（契約を中途解約する場合は解約の日が属する月）に申し受けます。</b>
年間負荷率未達精算額の精算額式変更	<p>年間負荷率未達精算額の<b>算定式を以下の通り変更いたします。</b></p> <p>(変更前の精算額式)</p> $\text{年間負荷率未達精算額} = \left( \left( \frac{\text{負荷率 80\%に相当}}{\text{する年間使用量}} \right) - \left( \frac{\text{実績年間}}{\text{使用量}} \right) \right) \times \left[ \begin{array}{l} \text{契約に定める契約月別使用量に} \\ \text{各月の単位料金を乗じたものの} \\ \text{合計額を契約年間使用量で除し、} \\ \text{小数点第3位を四捨五入した額} \times 2 \end{array} \right]$ <p>(変更後の精算額式)</p>

	$\text{年間負荷率未達精算額} = \left( \frac{\text{実績の最大}}{\text{需要期使用量}} - \left[ \frac{\text{契約期間における実績年間使用量を3で除した量 (小数点以下切り上げ) を 0.80 で除した量 (小数点以下切り上げ)}}{\text{調整単位料金}} \right] \right) \times (\text{精算額単価})$ $\left( \frac{\text{精算額単価}}{\text{(小数点第3位以下切り捨て)}} \right) = \left( \frac{\text{契約期間における最大需要期の最終月*の}}{\text{調整単位料金}} \right) \times \frac{1}{2}$ <p>*契約終了月から遡って直近の最大需要期に該当する月（契約終了月が最大需要期に該当する月の場合は契約終了月）をいいます。</p>
最大時間流量倍率未達精算額の廃止	<b>最大時間流量倍率未達精算額は廃止いたします。</b>
契約最大需要月使用量超過精算額の廃止	<b>契約最大需要月使用量超過精算額は廃止いたします。</b>

#### ④ その他ご契約の見直し

変更項目	変更内容
適用する約款体系の変更	「コージェネレーションシステムパッケージ契約（東京地区等）」の約款（個別約款）と「 <b>ガス基本約款(2026年新版)</b> 」を合わせて適用いたします。個別約款について、「ガス基本約款(2026年新版)」と重複する記載は削除いたします。
長期契約割引（付帯契約型選択約款）の新規受付停止・廃止	<b>長期契約割引（付帯契約型選択約款）は2026年10月1日以降に開始する新規契約について受付を停止いたします。現在適用中のお客さまは長期契約割引の満了とともに適用を終了させていただきます。</b>
契約期間のお知らせの電子化	myTOKYOGAS ビジネスにご登録いただき電磁的な書面交付を行うことをご承諾いただいているお客さまについては、2026年10月以降サービスが整い次第、需給契約の契約更改月前後で対象のお客さまへ紙面でお送りしていた契約期間のお知らせを廃止し、myTOKYOGAS ビジネス上でお知らせします。

#### ● 本お知らせに関するお問い合わせ先

**【TEL】0570-011331**（ナビダイヤル※）

※IP 電話等ナビダイヤルをご利用いただけない場合：03-6700-5473

受付時間 月～金 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）

\*ナビダイヤルは NTT ドコモビジネス（株）の専用ダイヤルです。電話料金はお客さまのご負担となります。かけ放題の定額通話制度等も適用対象外（有料）となります。ご契約いただいている通信会社の契約をご確認の上、お掛けいただく番号をお選びください。



変更後の約款を  
当社 HP でご確認  
いただけます

【ガス小売事業者】 東京ガス株式会社（小売登録番号 A0020）〒105-8527 東京都港区海岸 1-5-20